

報道関係各位

2018年11月15日
九州産業大学
ソフトバンク株式会社

ICT を活用したスポーツ教育の実証実験を産学連携で開始

～スポーツや体育指導における新たなコーチングシステムの確立に向けて、
オンラインレッスンプラットフォーム「スマートコーチ」を活用～

九州産業大学（福岡市東区、学長：榊 泰輔）とソフトバンク株式会社（東京都港区、代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）は、ICT を活用したスポーツの遠隔指導に関する実証実験を本日から2019年3月末日まで実施します。

実証実験は、九州産業大学の人間科学部スポーツ健康科学科において、ソフトバンクのオンラインレッスンプラットフォーム「スマートコーチ」を活用して、ICT を利用した指導法や新たなスポーツ教育の検討を行うもので、大学における「スマートコーチ」の導入は全国で初めての試みです。

スポーツ指導法の実験は 剣道、バレーボール、ハンドボール、準硬式野球の部活動4種目、約100人の学生を対象として、学生がスマートフォンなどで撮影してアップロードした競技中の動画に対し、九州産業大学の専門教員やコーチが、動作の改善点などを文字や図形、音声などで指摘、システムを介してフィードバックを行うもので、場所や時間に制約されないオンライン指導の有効性について検証します。

また、「スポーツ科学演習」などの講義やゼミなどにおいて、オンライン指導の活用方法などを議論し、スポーツ教育への応用の可能性を探る予定です。

ソフトバンクは、社会貢献活動のひとつとして次世代育成を掲げ、教育支援においてスポーツ分野におけるICTの利活用を推進しています。今回の実証実験では「スマートコーチ」の提供および使用するタブレット端末を無償で貸し出し、スポーツ教育におけるICT活用の拡大を支援します。

九州産業大学では、期間中「スマートコーチ」上の動画やコミュニケーション記録のデータ分析などを行う研究会や、学生同士の意見交換会などへの活用、新たなスポーツ教育方法や、ICTに習熟した体育教員養成への有効性の検証なども行い、来春以降の対象拡大や学内他学部との連携によるプラットフォーム強化の可能性なども視野に入れて実証実験を進めます。

実証実験の概要については、別紙をご参照ください。

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】

九州産業大学 総合企画部広報課 堺、山内 Tel：092-673-5013 E-mail：kohoka@ip.kyusan-u.ac.jp
ソフトバンク株式会社 広報室 担当：松葉 Tel：03-6889-2301 E-mail：sbpr@softbank.co.jp

教育

- ICTに精通した体育教員養成
- 指導を客観的に評価

データ・ノウハウ

部活動

- 科学的指導による競技力向上
- ICTの現場利用

